

進展するデジタル技術の活用により誰にもやさしい まちをつくりだす……………グリーン × デジタルを実装する市街地の形成

〈自由の思想〉に基づく進取の気風で醸成してきた比類ない「まちブランド」を維持・発展させていく観点から、とりまく新産業創造地域を背景に進展するグリーン × デジタルの技術を実装する、次世代型の商業スタイル・交通・エネルギー・物流等の様々な分野に係る先端的なまちづくりを目指していきます。

方針① 先進的なデジタル技術の活用により住み働き訪れる一人ひとりに寄り添うまちの DX 推進を目指す

自由が丘において 2017 年に導入した地域限定の無線通信「地域広帯域移動無線アクセス（地域 BWA＝ブロードバンド・ワイヤレス・アクセス）システム」や、自由が丘駅周辺エリアを対象とした公衆無線 LAN「Wi-Fi スポット」を下地としながら、今後も進展していく情報通信に係る先進的なデジタル技術を活用しながら、一人ひとりに寄り添い、まちの価値となるグリーン × デジタルなまちづくり（＝まちの DX（デジタル・トランスフォーメーション））を目指していきます。

具体的には、日常における商業活動の情報配信・決済、次代の交通システムへの活用、福祉・教育・防犯・防災への活用、エネルギーの最適化など、居住者、就業者、来街者、新たなビジネス交流人口といった今後の自由が丘の利用者に対する安全安心と便利さの向上に対する様々なデータ整備と活用を、公民連携を通して発展的に取り組み、深化させることを目指していきます。

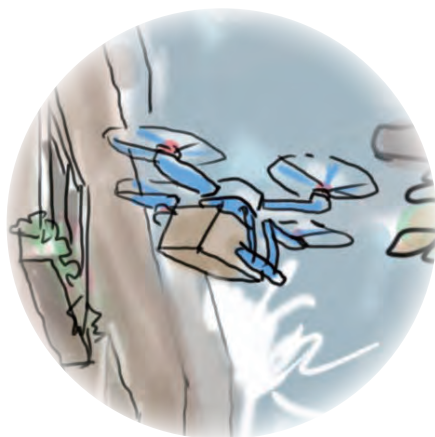


出典：国土交通省「まちづくりのデジタル・トランスフォーメーション実現ビジョン」

方針② エネルギー・交通・物流に関する先端技術をまちに実装していくことで新産業創造の交流拠点を目指す

建物を活用した発電やドローンを活用した物流など、現時点で想定される様々な分野での先端技術は今後も急速に進化していく中で、自由が丘にとって有益と考えられるエネルギー・交通・物流分野の技術については、まち自体をテストベッド（新技術の実証実験の場）として活用させながら、実装化を目指していきます。

特に、自由が丘を取り巻く新産業創造地域との連携を図りながら、グリーン社会の実現に寄与する先端技術に関する多様なビジネスが交差する交流拠点を目指していきます。



物流ドローン



空中ディスプレイ



自動運転のパーソナルモビリティ



一輪バイク



駐車時に折りたためるシティコミューター



建物屋上における物流ドローンポート

